

システムパック設定ツール

J-SLD90形

1. 機能概要

J-SLD90形システムパック (SPAK) 設定ツールは、Windows PC上で動作し、J-S□□9形 (J-STC90X、J-SRV95C、J-SCM92X等)のSPAKモジュール (デジタルタイプ) に対する変換器機能や演算器機能の各種パラメータ設定を行なうツールです。

SPAK設定ツールは以下の機能を持ちます。

- 1) SPAK J-S□□9形モジュールとUSB通信により以下の処理を行います。
 - モジュールで実施される信号変換および演算のパラメータ設定
 - 同パラメータのモジュールからの読み出し
 - モジュールへの入力信号、および出力信号のモニタ
 - モジュールの初期化
- 2) モジュール内パラメータ設定値に対する保存用ファイル (DATファイル) への変換と保存
- 3) 同DATファイルからのパラメータ設定値の読み込み^(注)
- 4) 画面に表示されたパラメータ設定値の印字

なお、SPAK設定ツールは従来機種種のJ-S□□80形/85形デジタルタイプSPAKモジュール、およびJ-S□□50形/55形/60形/65形アナログタイプSPAKモジュールとの組み合わせは行なえません。

注：DATファイルは、SPAK設定ツールで設定した内容の保存、保管と同様の設定内容を持つモジュールや故障交換時での再利用を目的としたものです。SPAK設定ツール外で作成、編集したDATファイルの読み込みとモジュールへのダウンロードは動作保証外となり、行なわないでください。

2. 機器 形番構成

基礎形番	選択形番	内 容
J-SLD90		WindowsPC用 CD-ROM 1枚 ・ SPAK設定ツールソフトウェア ・ USBケーブルドライバソフト ・ 取扱説明書 (pdfファイル)
	-0	設定ツール-SPAK間接続ケーブル なし
	-1	設定ツール-SPAK間接続ケーブル

注：SPAK設定ツール用接続ケーブルは、単体でも手配可能です。
(形番：J-SLDC00)

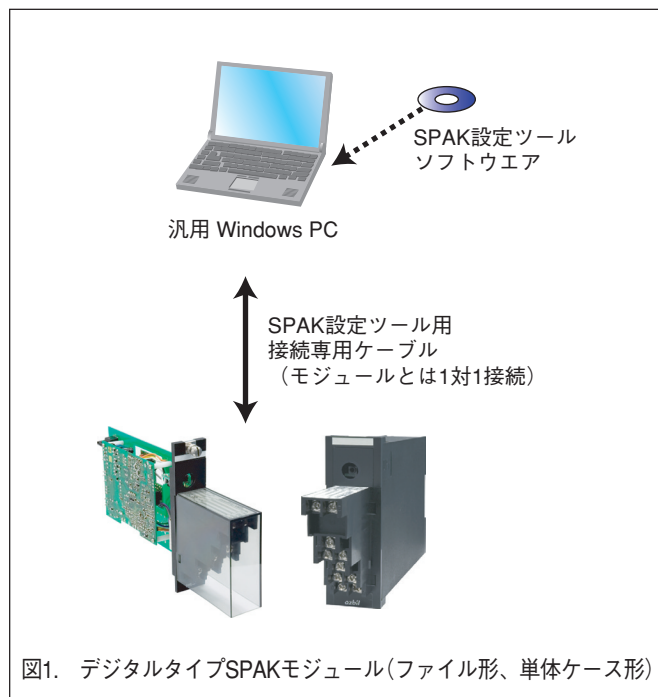


図1. デジタルタイプSPAKモジュール (ファイル形、単体ケース形)



図2. SPAK設定ツール用接続ケーブル (PC側がUSB)

3. 動作環境

項目		内容
本体	動作可能なPC機種	デスクトップ、ノート問わず下記OSの動作するもの
	OS	Windows 2000 Professional/SP3以上、またはWindows XP Professional
	CPU、メモリ	256MB以上
	ハードディスク容量	インストール時94MB以上の空き（.NETFrameWork1.1として88MBを使用）
周辺機器	モニタ	1024 × 768ドット以上
	ディスク	CD-ROMドライブ 1台以上（インストール時に使用）
	プリンタ	上記Windows対応のもの
	USBポート	1ポート以上

注：SPAKモジュール内への設定データはフラッシュROMに保存されます。
フラッシュROMへの最大書き込み回数仕様は10,000回です。

4. SPAK設定ツール用接続ケーブル仕様

項目	内容
ケーブル長	1.8m
USBコネクタ形状	PC側：USB 当社機器側：2.5φステレオプラグ
USB I/F規格	USB Specification 1.1 準拠
伝送速度	115.2 kbps以下
消費電流	75mA以下
使用周囲温度	0～+50℃
使用周囲湿度	10～90%RH（結露ないこと）
保管温度	-10～+60℃
保管湿度	10～90%RH（結露ないこと）
質量	約80g

5. 画面構成と表示例

5.1. メイン画面(起動時)とプルダウンメニュー

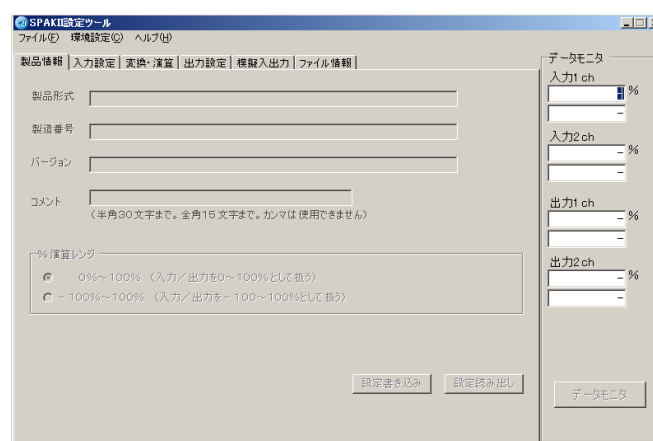


図3. メイン(起動時)画面

メイン画面プルダウンメニュー項目

ファイル	
通信接続—全読み出し	モジュールと通信を行ない、設定値を取得、表示します。
通信接続—全書き込み	通信を行ない、現在表示されている設定値をモジュールへ送信します。
ファイル—開く	DATファイルから設定値を取得します。
ファイル—保存	現在表示されている設定値をDATファイルに保存します。
印刷プレビュー	現在表示されている設定値の印刷プレビュー画面を表示します。
印刷	現在表示されている設定値の印刷ダイアログを表示します。
終了	プログラムを終了します。
環境設定	
パスワード	パスワード設定画面を表示します。
通信設定	通信環境画面を表示します。
初期化	モジュールを初期化します。
ヘルプ	
バージョン情報	バージョン画面を表示します。

5.2. 製品情報画面

「製品形式」、「製造番号」、「バージョン」等通信で取得した値を表示します。「コメント」欄以外への入力を行なえません。

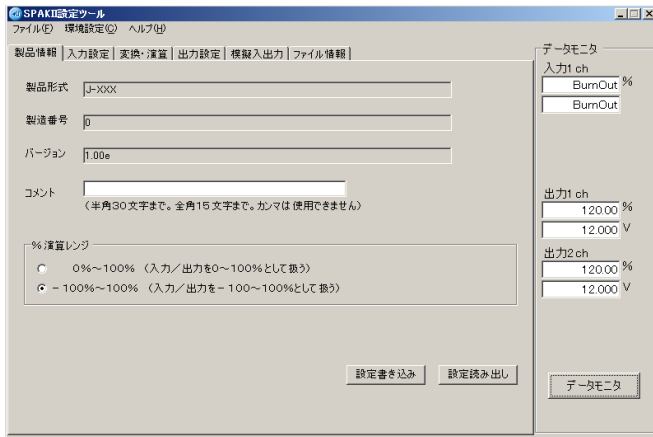


図4. 製品情報画面

5.3. 入力設定画面

入力信号、レンジ等、モジュールへの入力に関する設定や読み出し確認を行ないます。

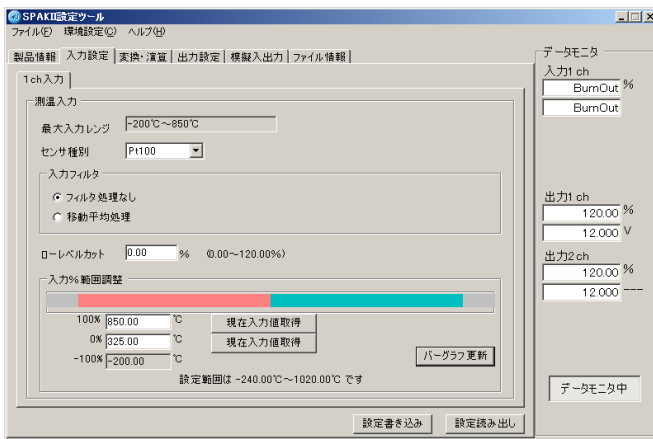


図5. 入力設定画面(测温抵抗体・熱電対の例)

5.4. 変換・演算画面

信号変換機能、演算機能に関する各種設定や読み出し確認を行ないます。SPAKモジュールの種類ごとに実行される機能が分かりやすくアイコン化され、効率的な設定と確認が行なえます。

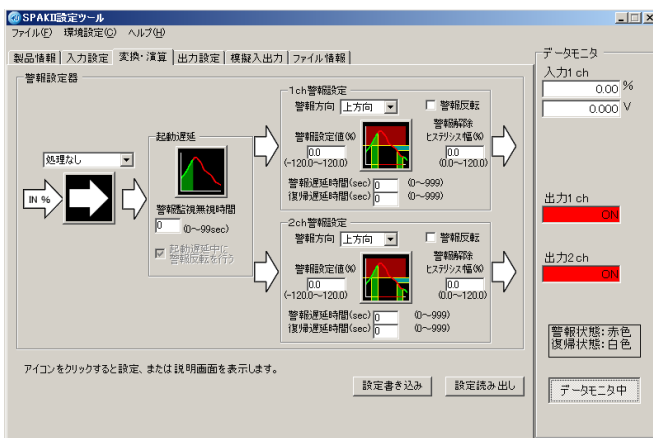


図6. 変換演算画面(モニタスイッチの例)

5.5. 出力設定画面

ローレベルカットやモジュール起動時遅延時間など、モジュール出力に関する設定や読み出し確認を行ないます。

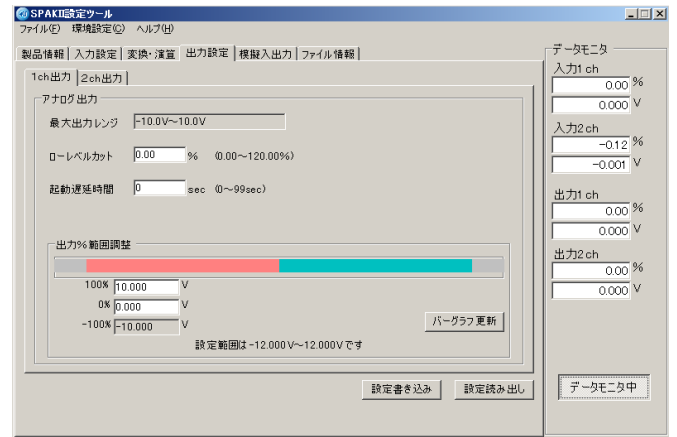


図7. 出力設定画面(アナログ出力を行なうモジュールの例)

5.6. 模擬入出力画面

モジュールの動作確認のための模擬入力と模擬出力が行なえます。

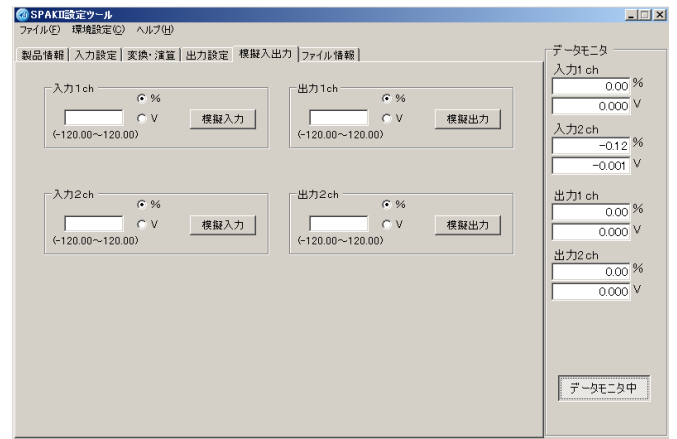


図8. 模擬入出力画面

5.7. ファイル情報画面

DATファイルに保存される情報を設定・参照します。

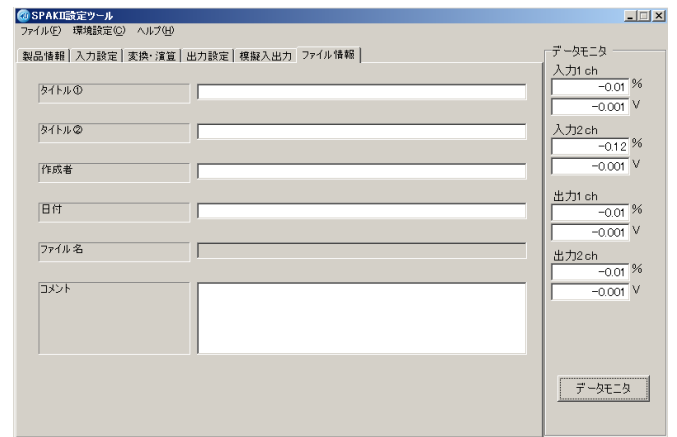


図9. ファイル情報画面

5.8. DATファイル形式

各データを1行で区切ったテキスト形式でDATファイルが生成されます。DATファイルは、PC上で一般的なテキストファイルを扱えるツールにより、参照が行なえるようになっていますが、SPAK設定ツール以外のツールで作成、編集、変更等を行

なったファイルを、設定ツールとして再利用することは、動作保証が行なえませんので決して行なわないでください。DATファイルに保存される内容は以下のとおりです。

種類	データ内容	PCローダからモジュールへの書き込み
データファイル参照用	作成ツールバージョン、タイトル1,2、作成者、日付（年月日時分秒）、ファイルコメント	非対象
モジュール固定データ	製品型式、製造番号、バージョン、入力種別、入力ch、出力種別、出力ch、入力／出力校正データ、入出力%範囲	非対象
モジュール設定データ	入出力レンジ、演算処理内容、各種入力／出力処理内容、リニアライズ設定データ、モジュールコメント	対象

5.9. 設定値の印刷形式

現在表示されている各種設定値に対し、以下のような形式での印刷が行なえます。

[タイトル1] XXX
[タイトル2] XXX
[作成者] XXX
[日付] XXX
[コメント] XXX
[製品型式] XXX
[製造番号] XXX
[バージョン] XXX
[入力種別]
[入力ch] XXX
[出力種別] XXX
[出力ch] XXX
[コメント] XXX
[入出力%範囲] XXX
[演算0-処理内容] XXX
[演算0-処理0] XXX
[演算0-処理1] XXX
:
:

注：リニアライズ設定はテーブル内容も印刷します。

●ここに記載されている製品は特にお断りがない限り標準製品です。

アズビル株式会社

アドバンスオートメーションカンパニー

本 社 〒100-6419 東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビル

北海道支店 ☎(011)781-5396 中部支社 ☎(052)324-9772
東北支店 ☎(022)290-1400 関西支社 ☎(06)6881-3331
北関東支店 ☎(048)621-5070 中国支店 ☎(082)554-0750
東京支社 ☎(03)6810-1211~2 九州支社 ☎(093)285-3530

〔ご注意〕この資料の記載内容は、お断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。

お問い合わせは、弊社事業所へお願いいたします。

(25) <アズビル株式会社> <http://www.azbil.com/jp/>